社会資本総合整備計画事後評価書
（愛知県 みよし市）

平成27年 3月 9日

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

事後評価書

平成27年 3月 9日

計画の名称	31　安全で安心して住み続けることが出来る地域生活道路の整備		
計画の期間	平成23年度　～　平成25年度　（3年間）	交付対象	みよし市

計画の目標

みよし市総合計画で定めている基本目標のうち「安全で安心して住み続けることが出来る地域」を実現するために、市民病院を中心とした医療・福祉拠点と既存集落を結ぶ道路ネットワークの充実を図り、あわせて市民の満足度を向上させることを目的とする。

計画の成果目標（定量的指標）

① 住みよいまちだと思う住民の割合を3ポイント向上させる。
② 周辺既存集落からへのみよし市民病院へのアクセス時間を概ね２０％程度短縮する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)	備考
① 「住みよいまち」意向調査の結果	68%		71%	
② 周辺既存集落からへのみよし市民病院へのアクセス時間の算定 （事業実施箇所における事業実施後のアクセス時間）／（事業実施前のアクセス時間） アクセス時間：周辺既存集落（既存集落の公民館）から「みよし市民病院」への自動車の実移動時間	100%		80%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	53百万円	A	49百万円	B	0百万円	C	4百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	7.5%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
みよし市都市建設部都市整備課	平成26年度
	公表の方法：みよし市ホームページにて公表

交付対象事業

A1　道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
31-A1-1	道路	一般	みよし市	直接	みよし市	市町村道	改築	（1）弥栄明知線	現道拡幅　L=450m、W=18.0m	みよし市		―	―			49	
															合計	49	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
31-C1-1	計画・調査	一般	みよし市	直接	みよし市	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	点検　N=12橋	みよし市						4	
												合計			4	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
31-C1-1	緊急に対策を必要とする橋梁の解消を図り災害に強い交通ネットワークを構築するため橋梁の点検及び修繕計画策定を行うことで、みよし市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを行い市民満足度を向上させる。	

1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

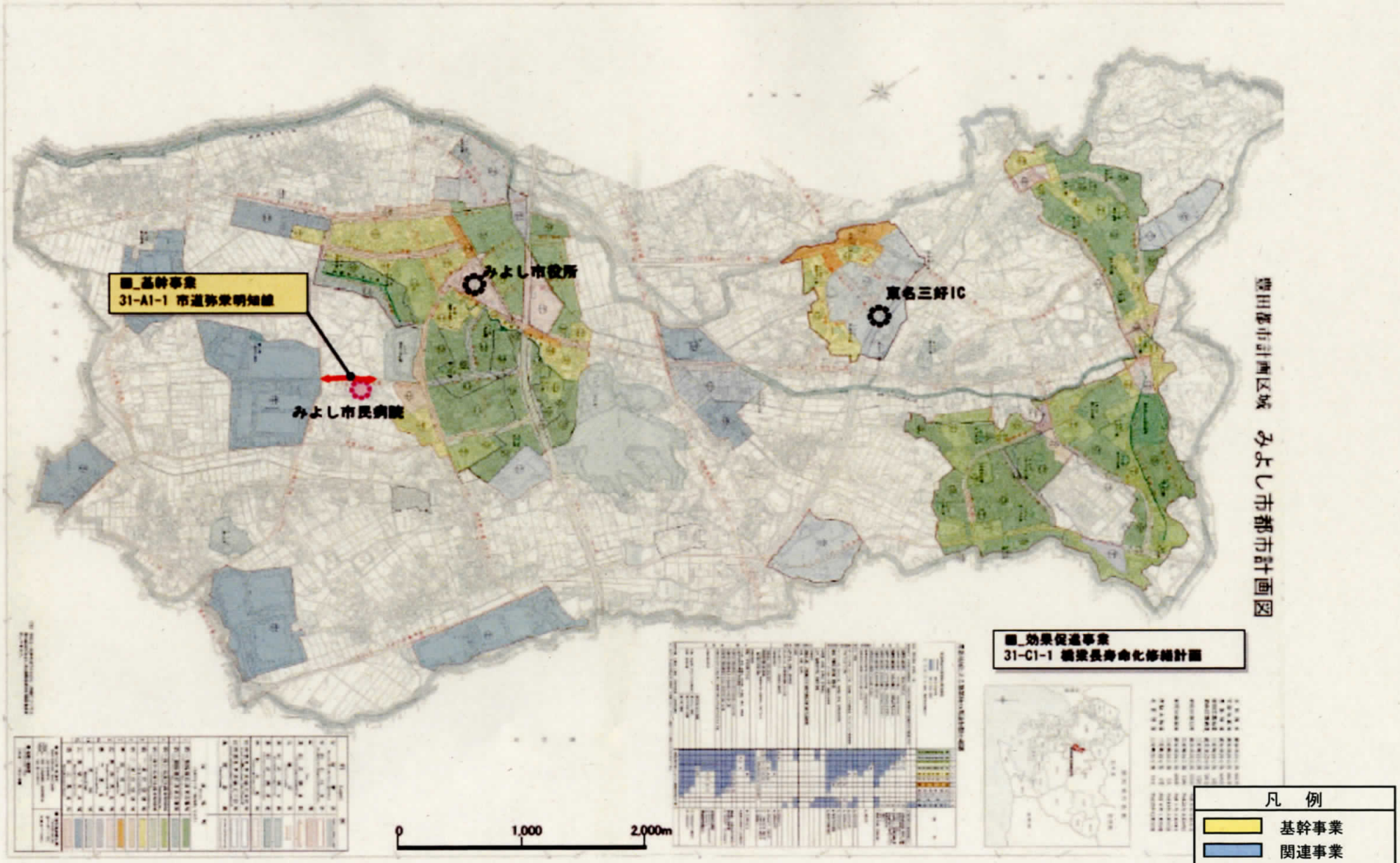
Ⅰ 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	弥栄明知線の現道拡幅により交通環境を改善し移動円滑性を向上させた。同時に歩道の整備を進めたことにより、歩行者空間の快適性向上・安全性を確保した。また、橋梁の点検及び修繕計画を策定し、市民へ公表した。 【その他特記事項】 アクセス時間の算定にあたっては、自動車による周辺既存集落からの実移動時間を用いたが、学童の通学時や交通量が比較的多い状況の中であってもアクセス時間を大幅に短縮できた。

Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標① 「住みよいまち」意識調査の結果	最終目標値	71%	総合所見	「住みよいまち」意識調査の結果、最終実績値66%と目標値の達成には至らなかった。しかしながら、「今後もみよし市に住み続けたい」という意識を持っている割合については計画策定時より0.6%向上し89%となっているため、本事業の成果として市民満足度を向上させることができたと考えられる。 【今後の活用】 引き続き道路整備等を進めて行くことで快適な市民生活を支援し、市民満足度を同程度の水準に保つよう努めていく。
		最終実績値	66%		
	指標② 周辺既存集落から市立病院までのアクセス時間の算定	最終目標値	80%	総合所見	道路事業の推進・現道の拡幅等により、一般車両、緊急車両ともに安全で快適な経路を選択できるようになり、アクセス時間が短縮された。 【今後の活用】 計画的な道路整備等をさらに進めていくことで交通ネットワークの拡充を図り、市民生活の安全性・快適性の向上に努めていく。
		最終実績値	59%		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況（必要に応じて記述）	

2. 特記事項(今後の方針)

今後も道路整備を計画的に進めて行くことにより交通ネットワークの拡充を行い、あわせて、今回策定した橋梁長寿命化修繕計画を基に計画的に橋梁の修繕を行うことで、市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを推進していく。

（参考図面）活力創出基盤整備

計画の名称	31　安全で安心して住み続けることが出来る地域生活道路の整備		
計画の期間	平成23年度　～　平成25年度　（3年間）	交付対象	みよし市